

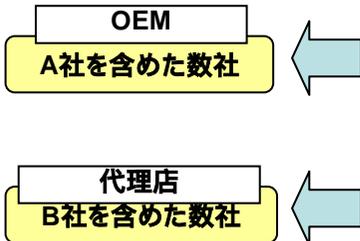
地域	大阪府大阪市	認定日	平成19年2月21日	5 - 18 - 060
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	防災・防犯	

事業名: 動画可逆圧縮技術FLC(Fullcolor Lossless Codec)を活かしたデジタル商品事業

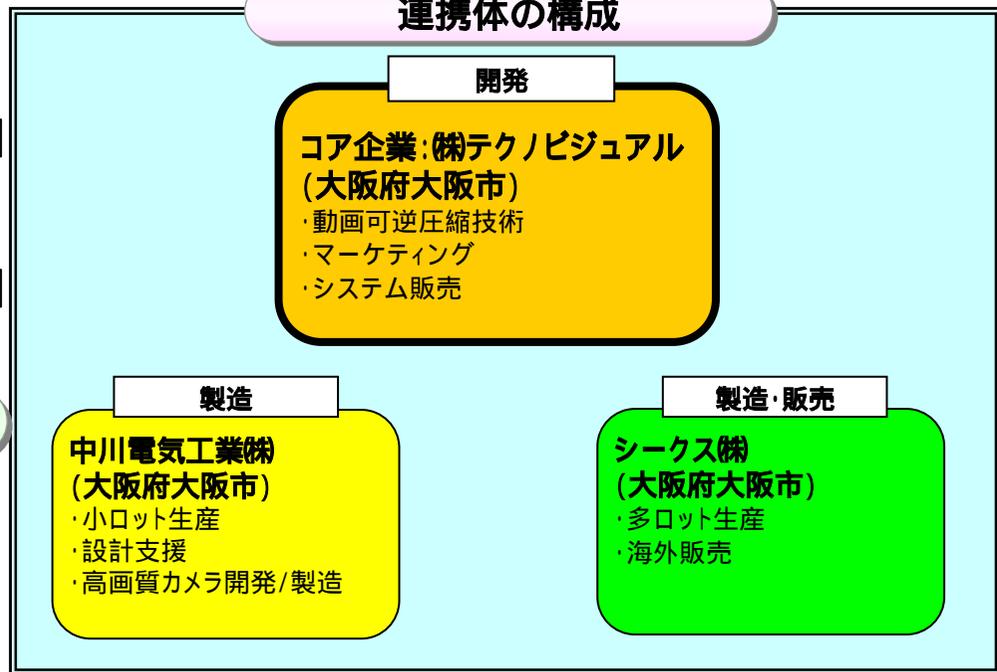
事業概要(新規性、市場性等)

・本事業のコア企業である(株)テクノビジュアルは、既存のMPEG / JPEG方式では実現できなかった技術、具体的には動画信号を圧縮記録して再生復元時に画像を拡大しても画質が落ちない動画可逆圧縮技術(FLC)、を開発した。本技術を利用して、デジタルレコーダ(防犯監視記録装置で復元時に拡大しても画質が保たれる)、ドライブレコーダ(現金輸送車・トラック・バス等の自己発生時に原因記録や映像拡大確認機能がある)、トランスミッション(防災用定点カメラの映像信号を記録、集中閲覧装置へネット伝送)などの多様な商品を市場へ投入する予定である。本事業は、第一に当面の市場と定めている防犯セキュリティ業界の今後の需要拡大が見込めること、第二に本技術を利用した製品が国内先行企業より性能や価格で先行していること、などの点で優れている。

事業推進体制



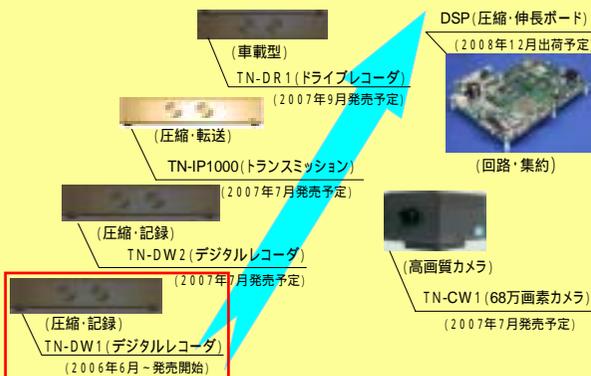
連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
低利融資
信用保証の特例
中小企業投資育成会社による支援

経営を支えるコア技術(可逆圧縮エンジン)を用いた、強い商品の数々です。



他社の画像



FLCの画像



連携のきっかけ、特徴

- ・研究開発型の(株)テクノビジュアルが商品開発を行っていたが、ものづくり(ハード設計・試作品製作・小ロット生産)及びメンテナンス面での支援が必要だった。また、大量生産にも対応可能な体制も必要であった。そこで、コア企業である(株)テクノビジュアルは、連携企業として中川電気工業(株)とシークス(株)を探し出した。
- ・中川電気工業(株)は商品の共同開発や製造販売ならびに小ロット生産を担当する。一方、シークス(株)は、低コスト部品調達及び大量生産能力を利用した利益率の向上した製品製造を担当する。
- ・中川電気工業(株)のものづくりと、大量生産能力のあるシークス(株)を連携に組み入れたEMSの2段階体制と、テクノビジュアルの最先端技術ある画像圧縮技術を融合して、強い競争力のある商品を開発することが出来る。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社テクノビジュアル 代表取締役社長 関根 徳久	
所在地	〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目6番18号 新大阪和幸ビル1F	
創業	平成16年12月	
資本金・従業員数	1,200 万円	8 名
業種	画像処理ソフトウェア開発事業	
T E L	06-6150-6212	
F A X	06-6150-6213	
ホームページ	http://www.techno-v.jp	
e - m a i l	naka_kishio@techno-v.jp	

PR等その他の情報

- ・防犯・防災市場をターゲットとしています。
- ・認定に至るまでには、様々な障壁がありましたが、長崎PM様・菊谷SM様をはじめとした新連携支援近畿地域戦略会議事務局の皆様の献身的な御支援により、それを乗り切ることができました。
- ・機会警備業界との商談が進み、間もなく売り上げ計上される見込みです。
- ・平成19年2月21日～23日に～インテックス大阪～で開催された中小企業総合展大阪会場に出展を果たしました。